

研究テーマ：文化的交流を目的とした遠隔小学校間交流支援 に関する研究(1/2)

(プロジェクト番号 JGN2-A19008)

研究機関：愛媛大学、松山市、徳島市、徳島大学

ケーブルテレビ徳島株式会社 株式会社愛媛CATV

研究の概要：

地域公共ネットワークを利活用する方策として、教育分野への適用が期待されている。また異なる自治体のネットワークを相互に接続することで新しいニーズを創生していく必要がある。本研究では、松山市および徳島市が整備した光ファイバー網を相互に接続し、年間を通じた小学校の交流をパイロット事業として実施する。

高画質のテレビ会議システム(DV over IP 伝送装置)を活用し、類似地域の遠隔小学校間での交流を行い、以下の効果や可能性を探る。

- ・ 日常的な交流を通して、子ども同士がかかわり合う力の育成
- ・ 社会科や総合的な学習の時間等の学習において、地域に対する理解や関心の向上
- ・ 子どもたちのネットワーク環境を生かすセンスやリテラシーの向上

(研究分野)

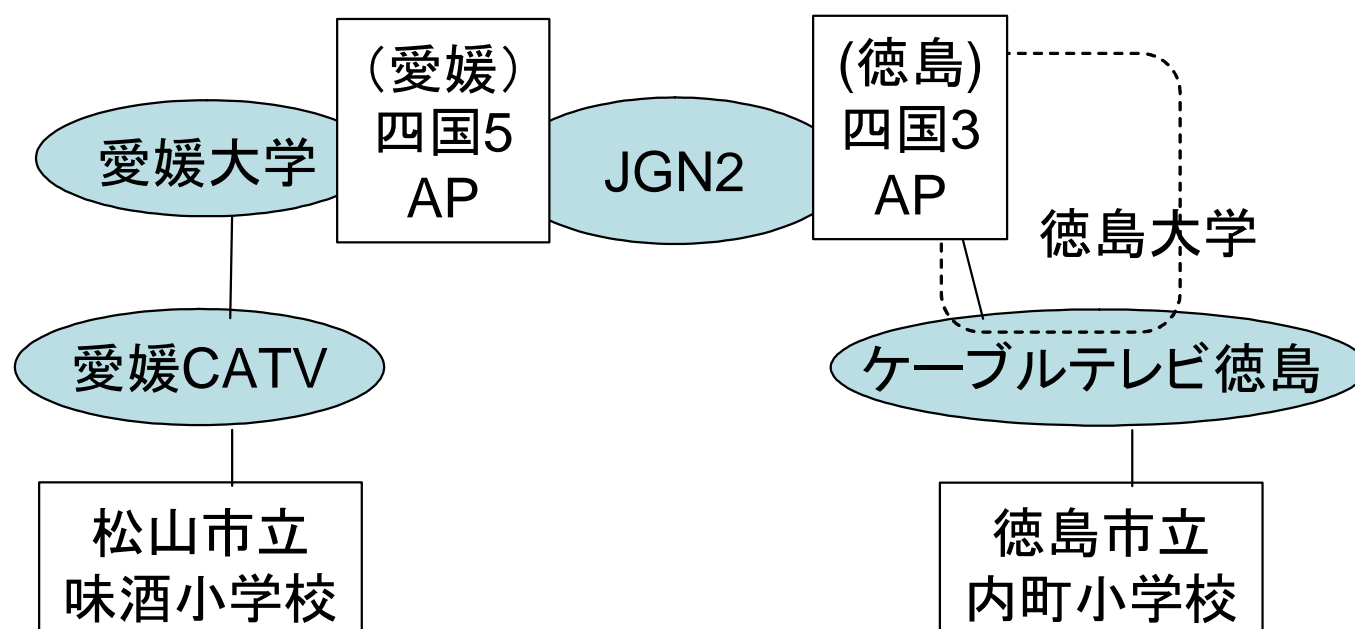
- ・ 遠隔授業
- ・ IT人材育成
- ・ 地域間交流
- ・ DV over IPおよびそれに関わるネットワーク運用技術

なお、本研究は、四国情報懇談会調査研究活動として支援を受けて実施している。

研究の目的：

小学生の文化的交流を広げ深める遠隔「類似地域」学校間交流を支援するために、広帯域IP網にて高画質伝送をおこなうための方策を検討し実証する。

実験機器構成： ネットワーク構成は以下のとおり。



研究テーマ: 文化的交流を目的とした遠隔小学校間交流支援 に関する研究(2/2)

(プロジェクト番号 JGN2-A19008)

研究機関: 愛媛大学、松山市、徳島市、徳島大学

ケーブルテレビ徳島株式会社 株式会社愛媛CATV

調査研究項目:

- (1)異なる自治体の小学校どうしを相互に接続する際に問題となっている、ネットワークポリシーの違いを解決する方法を検討し検証する。
- (2)コミュニケーションリテラシが発達途上である低学年の児童でも容易に交流できるように、高臨場感通信環境を提供しその効果を検証する。
- (3)パイロット事業を四国全域に拡張し、地域公共ネットワークの教育分野での利活用を促進するための課題と方策を検討する。

共同研究者の役割:

- ・ケーブルテレビ徳島株式会社と株式会社愛媛シーエーティヴィ: 学校間ネットワークの運用管理。研究の提案と取りまとめ。
- ・松山市および徳島市: 教育委員会が運用管理する学校間及び学校内 LAN のセキュリティポリシーの検討と検証。
- ・FA・システムエンジニアリング株式会社: DV over IP 伝送装置の提供と運用
- ・徳島大学および愛媛大学: JGN2 と地域網との相互接続と運用。学術的見地からの研究支援。

プロジェクトのアピールポイント

大半の自治体で、地域公共ネットワークの整備が完了したにもかかわらず、その利活用はあまり進んでいない。本プロジェクトでは地域公共ネットワーク間の相互接続バックボーンとしてJGN回線が非常に有効であることを市民に伝えることができる。

地域公共ネットワークで期待されている利活用分野が教育である。コンテンツの製作やその流通基盤整備に力を入れている岩見沢市との JGN プロジェクト(A17002)の成果を受けた。

プロジェクトの自己評価

来年はさらにその交流の輪が他県にも広がりそうな状況になっており今後の更なる波及効果が期待される。